

科目名	現場体験実習B						年度	2025	
英語科目名	Experience-based training B						学期	通年	
学科・学年	スポーツトレーナー科 2年次	必/選	選※	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	鈴木	教員の実務経験		有	実務経験の職種		アスレティックトレーナー		
【科目の目的】 今まで培ってきた知識や技術を駆使し、学内外のさまざまな指導現場において実習を行います。指導対象は中高生やトップアスリートから高齢者や中高年の運動初心者まで年齢やレベルもさまざまです。象や目的に合わせて臨機応変な指導ができる事が目的です。									
【科目の概要】 今まで勉強してきたことについて、総合的に学内外で実習します。									
【到達目標】 A. JSP0-ATの理解 B. コミュニケーション力 C. ATに関わる基礎知識・技術									
【授業の注意点】 自主性・積極性を大切にし、実習態度や言動、容姿も厳しく指導する。トレーナーとしてふさわしくない場合は実習の打ち切りの可能性もあります。理由のない遅刻や欠席は認めません。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう			レベル1 もう少し			
到達目標 A	ATの役割・定義を覚え・理解している		ATの役割・定義を概ね覚え・理解している			ATの役割は理解できる			
到達目標 B	相手・状況に応じたコミュニケーションを積極的・自主的にできる		相手・状況に応じたコミュニケーションを自主的にできる			相手・状況に応じたコミュニケーションが概ねできる			
到達目標 C	解剖学・S&C理論などの基礎知識を修得し、テーピング・ストレッチの基礎技術を現場で実践できる		解剖学・S&C理論などの基礎知識を修得し、テーピング・ストレッチの基礎技術を現場で一部実践できる			解剖学・S&C理論などの基礎知識を理解し、テーピング・ストレッチの基礎技術を現場で一部実践できる			
【教科書】 JSP0-AT教本									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 課題・平常点									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		現場体験実習B			年度	2025
英語表記		Experience-based training B			学期	通年
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	実習の理解	1 実習説明	容姿・服装・言動などの理解	3	
			2 ATの理解	JSP0-ATを意図した考え		
			3 実習計画	自身の目標と実習における成長計画		
2	実習	実践力	1 実習	JSP0-ATを意図した実習	2	
3	実習	実践力	1 実習	JSP0-ATを意図した実習	2	
4	実習	実践力	1 実習	JSP0-ATを意図した実習	2	
5	実習	実践力	1 実習	JSP0-ATを意図した実習	2	
6	実習	実践力	1 実習	JSP0-ATを意図した実習	2	
7	実習	実践力	1 実習	JSP0-ATを意図した実習	2	
8	実習	実践力	1 実習	JSP0-ATを意図した実習	2	
9	実習	実践力	1 実習	JSP0-ATを意図した実習	2	
10	実習	実践力	1 実習	JSP0-ATを意図した実習	2	
11	実習	実践力	1 実習	JSP0-ATを意図した実習	2	
12	実習	実践力	1 実習	JSP0-ATを意図した実習	2	
13	実習	実践力	1 実習	JSP0-ATを意図した実習	2	
14	実習	実践力	1 実習	JSP0-ATを意図した実習	2	
15	実習	実践力	1 実習	JSP0-ATを意図した実習	2	
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他						
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった						
備考 等						